

Academic Library 著者自らが新刊を紹介します。

“いのち”と向き合うこと・“こころ”を感じること —臨床心理の原点をとらえなおす—

心理学部・教授・後藤秀爾(監修)

▶A5判/210ページ/ナカニシヤ出版/2,500円
+税/2013年3月30日発行

▶多様な心理臨床の現場における、現時点での取り組み課題と、その取り組みを支える基盤について、障害の子の親の声も交え、13人の心理臨床家がそれぞれの視点でまとめたもの。監修者である後藤が、障害児臨床の展望を行っている。



心を紡ぐ心 一親による乳児の心の想像と心を 理解する子どもの発達

心理学部・准教授・篠原郁子(著)

▶A5判/220ページ/ナカニシヤ出版/6,200円
+税/2013年2月20日発行

▶大人は、乳児に「うれしいのね」「いやだったね」と心を読み込む癖がある。本書は、大人のそうしたおせっかい心が赤ちゃんの心の発達を支える様子を、発達心理学の視点から検証した。生後5年間の母子観察と実験により、子どもの発達とそれを支える親の心理を描いた。



スウェーデン 保育の今 —テーマ活動とドキュメンテーション—

福祉貢献学部・教授・白石淑江(共著)

▶A5判/203ページ/かもがわ出版/2,300円
+税/2013年7月30日発行

▶スウェーデンは、世界で最も保育の質が高い国である。テーマ活動の実践をドキュメンテーションに基づいて紹介し、ナショナルカリキュラムの理念とその具体化に迫る。全3章のうち1章、2章、資料を分担した。



「近代化遺産」にみる国家と地域の関係性

交流文化学部・講師・山本理佳(著)

▶A5判/247ページ/古今書院/5,200円+税
/2013年2月25日発行

▶文化遺産をめぐる地域の国家に対する従順な関係性を再考すべく、九州の2都市を事例に地域の人びとの実践を描く。北九州市における重工業の発展と国家による産業施設の「近代化遺産」化、佐世保市の軍事都市としての変容と軍事施設の「近代化遺産」化の背景などを探る。



スタートアップ「心理学」

—高校生と専門的に学ぶ前のあなたへ—

心理学部・准教授・小川一美/心理学部・教授・斎藤和志
心理学部・教授・坂田陽子/心理学部・教授・吉崎一人(共著)

▶A5変型判/112ページ/ナカニシヤ出版/1,300円
+税/2013年9月1日発行

▶心理学に興味を持った高校生、大学生や一般の方、そして進路指導をする先生方に、「心理学に対する正しい認識を持ってほしい」という思いで執筆しました。大学で学ぶ心理学とは何か、大学で心理学を学んだ後はどうなるのかなどについて、わかりやすく紹介しています。



科学者の発表倫理

—不正のない論文発表を考える—

人間情報学部・教授・山崎茂明(著)

▶A5判/161ページ/丸善出版/2,600円+税/
2013年6月30日発行

▶科学研究に、発表は欠かせない。それだけに、科学論文の書き方についてのガイドブックは、数多く刊行されている。しかし、発表倫理に焦点をあてたガイドは、ほとんど刊行されていない。本書は、公正な論文発表を目指す人々のための執筆ガイドである。

